

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年4月16日

全州にて週末に向かい気温が上昇し、土壌温度も多少上がり春小麦の播種を始めた地方も有る。しかし、殆どの地域では土壌の温度が未だ播種には低い為、農作業は進捗していない。州全体で土壌水分が平年（過去5年平均）を下回っている。

2002年産春小麦（デュラム小麦を除く）の作付け予想は、2001年産（710万エーカー）に対し90%相当の640万エーカーと発表されている。デュラム小麦の作付けは210万エーカー（昨年220万エーカー）と予想されている。昨年の5%減である。

2002年4月14日現在

土壌水分：

州の南西部と北東部に特に水分不足の圃場が集中している。北西地区では降雪と降水により土壌水分が改善された。東中央地区から東南地区の水分は適である。

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	8	26	63	3
Last week (%)	4	29	62	5
Last year (%)	0	0	62	38
5-yr. Ave. (%)	1	6	70	23

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	6	31	61	2
Last week (%)	3	30	64	3
Last year (%)	0	4	68	28
5-yr. Ave. (%)	1	10	70	19

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	-	-	-	-	-
Durum wheat (%)	-	-	-	-	-

小麦進捗状況：

土壌の温度が平年より低く、殆どの地区で春小麦の播種は開始されていないが、東南部の一部で播種が始まった。

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Planted (%)	1	0	0	1
Durum wheat Planted (%)	0	0	0	0

Source: North Dakota Agricultural Service